

第3期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像

【人口の現状】

■将来推計人口

165,077人(2020)→98,544人(2050)

■人口減の主要要因(現時点)

〈社会減〉

進学・就職等による転出超過

転勤・転職等による転出超過

〈自然減〉

出生率の低下

死亡数の増加



【将来の展望】

■合計特殊出生率

1.22(2022)→1.80(2050)→2.07(2060)

■人口移動率

転入:10%増・転出:10%減

20~39歳の年代の移動率20%増

■目標とする人口

10万8千人(2050)・8万7千人(2070)

■目指すべき将来の方向

親になる世代に釧路に定着していただくことが最も重要な
であるという、これまでの考え方を継承して取り組む。

【目指すべきまちづくり】

つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

【最優先課題】

「域内循環」と「外から稼ぐ」取組の推進などにより、力強い経済基盤を構築し雇用の創出などを図り、親になる世代を確保して人口減少に歯止めをかけます。

【分野別 基本目標と施策】

基本目標1 経済活性化と質の高い雇用創出及び交流人口 ・関係人口の拡大を目指す

- ①釧路らしさを生み出す農林水産業の成長産業化
- ②釧路の「食」の高付加価値化と地場産品の販路拡大
- ③地域特性を生かした企業誘致
- ④中小企業・小規模事業者の「外から稼ぐ力」の強化
- ⑤地域に根ざした石炭産業の振興
- ⑥釧路の自然文化を生かした世界一級の観光地域づくり
- ⑦釧路の強みを生かした交流人口・関係人口の拡大

基本目標2 地域を支える人材育成・人材確保を図る

- ①地域を支える人材の確保
- ②釧路の強みを生かした移住・定住の促進及び関係人口の創出
- ③安心な暮らしを守る人材づくり

基本目標3 地域が支え、安心して働ける環境をつくる

- ①結婚や妊娠を支える環境づくり
- ②安心してこどもを産み育てられる環境づくり
- ③こどもの成長を支える環境づくり
- ④医療・保健サービスの充実

基本目標4 持続可能なまちをつくる

- ①コンパクト・プラス・ネットワークの推進
- ②ひがし北海道の中核都市としての拠点性の向上
- ③効率的な行財政運営の推進